

総合的な学習の時間学習指導案

令和元年 11 月 13 日（水）第 5 校時（14：05～14：50） 3 年 組教室

小学校 3 年 組 指導者

授業の視点

追究する①の課程で考えた公園を練り直す場面において、Yチャート（良いところ・たりないところ・？）を用いて整理・分析したアンケート結果をもとに改善点を話し合うことで、「地域の人が行きたくなる公園にするため」という視点で公園を作りかえることができるであろう。

1 単元 「つくろう！ぼくらの 公園」

2 単元設定の理由

（1）教材観

本校児童が住む 地区は、住宅が広がり、医療や商業などの施設が充実している。学校の西側には幹線道路があり、本数は少ないが市内循環バスが通っている。 といった文化遺産もある。また、学校のすぐ東側にある 公園をはじめ、運動場や野球場などを併設した比較的大きな公園から少しの遊具とトイレや水飲み場がある小さな公園まで、公園が数多くある。

小学校3年生は社会科「わたしたちの町～学校のまわりの様子～」で、学校の西側・南側を中心に町の様子について調べ、自分たちの学校のまわりの環境について学習してきた。自分の住んでいる地域について、自分の住んでいるまわりの様子や通学路周辺の様子を断片的に知っている児童たちであったが、初めて学校周辺の地域の様子を学び、公園が多いという特徴に気づいた児童もいた。

公園は、多くの児童が、学校の学習や放課後の遊びで利用した経験がある。また、公園ごとに敷地の使われ方、設備、遊具、自然など特徴があり、公園ごとに比較してそれぞれの公園の持つ良さや共通点を比較しやすい。その上、学校から近い場所に公園があることから実際に出かけて調べることも可能である。このような理由から、地域について調べ、伝えていく活動のきっかけとして、公園を取り上げることは児童にとって興味関心を持ちやすく、適切であると考えた。

本単元「つくろう！ぼくらの 公園」は、地域にある公園の魅力を調べながら、そこを利用する地域の人々がいること、さまざまな年代の方が利用していることなどに気づき、自分たちも地域に住む一員であることを認識していく。人々が楽しめるような特徴ある公園について追究していく中で、地域の人とのふれあいや家族、学年学級の児童や異学年児童との意見交流を通して、他の人々の持つ願いを知ったり、協働で学習したりすることができると思う。これは、学習指導要領総合的な学習の時間の目標（3）探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養うことができると考え、本単元を設定した。

(2) 児童の実態

〈知識及び技能〉

〈思考力・判断力・表現力〉

〈学びに向かう力・人間性〉

3 目標

地域の公園について調べ、地域に住む人々の思いや願いを知り、地域に住む人が笑顔で楽しめる公園について考え、形にすることを通して、地域に興味を持ち、自分も地域の一員であるという気持ちを育てる。

〈知識及び技能〉

地域に暮らしている人々の思いや願いを知り、その人々を支える仕組みがあることに気づく。

〈思考力・判断力・表現力〉

地域の公園の特徴やよさについて比較したり、アンケートやインタビューをしたりすることを通して、情報を集めたりして、みんなが使ってみたい公園としてまとめようとしている。

〈学びに向かう力・人間性〉

地域のひとと関わることを通して、他者と協力して調べながら、様々な考えがあることに気づき、それらを活かしていこうとしている。

4 評価規準

評価の観点	おおむね満足できる状況
知識及び技能	・地域に暮らしている人々の思いや願いが生かされて、公園が作られているということが分かる。
思考力・判断力・表現力	・地域の公園を調査したり、アンケートをとったりして情報を集め、自分たちがめざす公園を形にすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・地域の公園に興味を持ち、調べたりまとめたりしようとしている。

5 指導の計画 【年間指導計画 参照】

6 指導方針

【課題をつかむ課程】

- ・公園の利用経験には個人差があることも考慮し、公園の施設、設備を実際に見学したり遊んだりする中で、公園の持つ魅力を見つける活動を行い、子どもたちが共有した経験を元に学習を進められるようにする。
- ・公園の魅力を見つける活動では、多くの子どもたちが利用した経験があり、特徴が見いだしやすい二つの公園（ 公園と 公園）を取り上げ、比較することで、公園の役割や特徴を見つけ出すことができるようにする。
- ・公園の魅力を比較する活動では、ベン図を活用し、二つの公園の同じところ、違うところを見つけて整理しやすくする。
- ・公園の役割を知るために、図書活用できるように準備しておく。図書事務職員に協力を依頼し、適切な資料を提示できるようにする。

【追究する①の課程】

- ・考えを出し合ったり、教えあったり、分担したりしながら活動が進められるように、1グループを4～5人で編成する。
- ・参考となる公園の資料を用意し必要に応じて活用できるようにしておくことで、「みんなが笑顔で楽しめる公園」を考える手がかりにできるようにする。インターネットによる資料については、情報の学習に携わっている ICT サポートスタッフに依頼し、適切な資料を提示できるようにする。
- ・情報の収集のためのアンケート調査では、これまでの他教科での学習を生かし、インタビューによる聞き取りを行うようにする。国語科や社会科でのインタビューの学習や経験をふり返し、インタビューの内容を考えられるように言葉をかけていく。
- ・情報を収集し、整理・分析する活動に初めて取り組むため、情報量が多くなりすぎないように留意しつつ、年代や性別の違う人から意見がもらえるように対象を決めるようにする。児童の家族、学級の他のグループの児童を中心に選ぶようにし、必要に応じて学校職員にも依頼できるようにする。

- ・学習参観や学級だよりを通して、学習の様子を家庭に知らせるようにし、趣旨を理解してもらった上でインタビューによるアンケート調査に協力してもらうようにする。
- ・アンケート結果の整理・分析では、Yチャートを活用し、自分たちの考えた公園の「良い点」「足りない点」「? (不採用)」に分けてアンケート結果を整理することで、自分たちが考えた公園の良さと課題に気づくことができるようにする。

【追究する②の課程】

- ・公園のアイデアをバージョンアップする活動では、地域の人の思いや願いをふまえた、みんなが行きたくなるような「みんなが笑顔で楽しめる公園」にするための話し合いになるように、アンケート結果から分かった公園の良さと課題をもとに話し合いを進めて、公園マップを見直していく。
- ・子どもたちが考えた公園をよりわかりやすく他者に発信できるように、公園マップをもとに、公園を模型で表す制作活動を取り入れる。
- ・グループで考えた公園のアイデアを容易に形に表すことができるように、新聞紙や紙粘土のようなこれまで図画工作や遊びの中で扱ったことのある材料を準備するようにする。
- ・新たな課題のもと、公園のアイデアを練り直した結果を児童が実感できるように、前回と同じ人にアンケートをとる。また、整理分析するための情報量を「追究する①」より増やすために、他クラスや他学年、学校職員（いろいろな仕事にたずさわっている職員）にも対象を広げる。
- ・学級内での発表だけでなく、校内に展示することで他クラスの児童の考えた公園アイデアに触れたり、他学年の児童や職員との交流をしたりできるようにする。

【まとめるの課程】

- ・児童が、本単元を通して感じたことを自由に表現するだけにとどまらず、公園について考えた結果、わかったことや気づいたこと、グループ活動での取り組みや、今後自分がさらに調べたいと思うこと、新たにやってみたいと思うことについても考えられるように視点を提示していく。

7 本時の学習

(1) ねらい

追究する①の課程で考えた公園マップを、アンケート結果を整理・分析して分かった良さと課題をもとに練り直すことで、地域の人の願いをふまえた公園に改める。

(2) 準備

教師：公園マップのコピー（各グループ2）、新しい公園マップ用のA3用紙（各グループ1）、学習プリント、付箋紙、白紙、ホワイトボード、ボードマーカー

児童：アンケート結果を整理・分析したYチャートのプリント、公園マップ…各グループ
筆記用具、はさみ、セロテープ、のり、総合的な学習の時間ファイル…個人

(3) 展開

学習活動	支援及び留意点	時間	観点評価項目（方法）
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの考えた公園が地域に住む人たちにとって、行きたくなる「笑顔で楽しめる公園」になっていたかを問いかけ、前時までにまとめたグループの良い点と課題を振り返ることができるようにする。 これからどんなことをしていきたいかを問いかけ、自分たちの考えた公園をより地域の人が行きたくなる公園に作り変えていこうとする気持ちを引き出す。 	5分	
<p>めあて：アンケート結果をもとに地域の人たちに「行きたい」と思ってもらえるような公園にバージョンアップしよう。</p>			
<p>2 アンケート結果と公園マップを見比べて、改善点を話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【話し合いのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> そのまま生かすところ つけたすところ 全部作りかえるところ </div>	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の「良いところ」を参考にそのまま生かすところ、「足りないところ」を参考に付け足したり変えたりするところ、全部作りかえるところがどこなのかを話し合えるように、話し合いのポイントを提示する。 話し合いで決まったことをメモしたり、新しく考えたアイデアを絵で表したりできるように、付箋紙や白紙、ホワイトボードを用意しておく。 話し合いの視点のずれたグループが出た場合は、アンケート結果を見直し、どこを変えるとその意見を生かすことができるのかを問いかけて、アンケートを生かした話し合いができるように促す。 マップの見直しができなかったグループから、話し合ったことをマップにまとめるように伝える。 	30分	<p>思 アンケート結果をもとに、改善点を提案したり、友だちの考えを聞いて自分の考えを話したりしている。（観察）</p>

<p>3 出し合った意見を整理したりまとめたりしながら、新しい公園マップを作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ改善前の公園マップをコピーしておき、生かせるものは切り抜いて使えるようにしておく。 ・全体のバランスを見て、必要に応じて増やしたり、減らしたりしても良いことを伝える。 		
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに改善した公園マップを見る。 ・プリントで本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の区切りをつけるために、黒板前に集まり、振り返りの活動を行う。 ・他のグループの公園マップが見られるように、黒板に掲示する。 	<p>10分</p>	

8 参考資料

○板書計画

課題	<p>みんなが行きたくなる みんながえがおで楽しめる「公園」をつくろう</p>
めあて	<p>アンケートけっかをもとに地いきの人たちに「行きたい」と思ってもらえるような公園にバージョンアップしよう。</p>
【話し合いのポイント】	<ul style="list-style-type: none"> ・そのまま生かすところ ・つけたすところ ・全部作りかえるところ
	<ul style="list-style-type: none"> ・なくす（へらす）ところ ・ふやすところ

課題

みんなが行きたくなる

みんなが えがおで 楽しめる「 公園」をつくろう

組 番 (

)

公園マップをバージョンアップしよう

○本時のふりかえり

• 自分の考えをもつことができた

• 友だちの意見を聞くことができた

• 次の時間に自分がちょうせんしたいこと

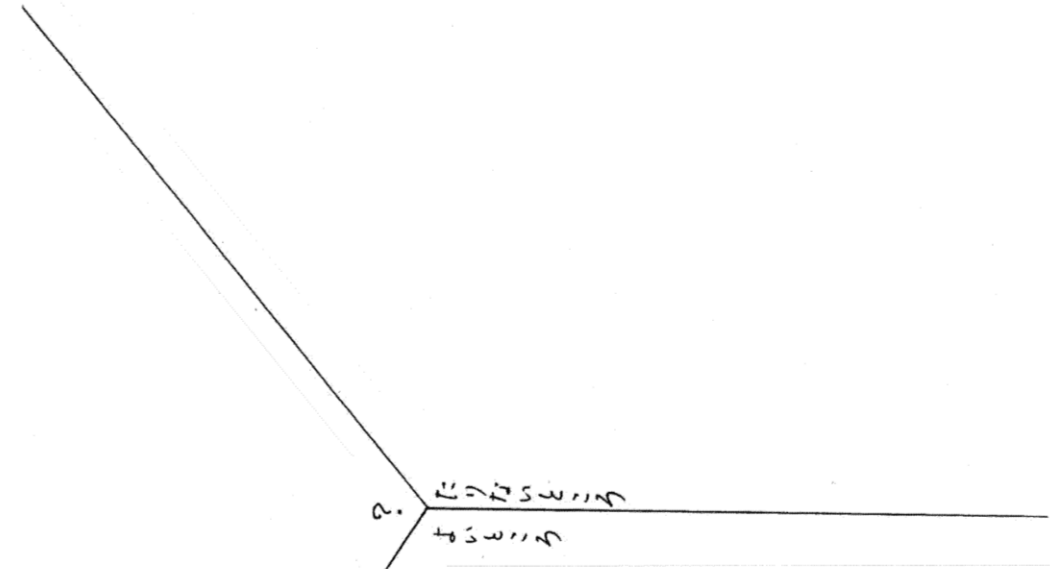
○感想

課題 みんなが行きたくなる

みんなが えがおで 楽しめる「公園」をつくろう

アンケートをせいで、まとめよう

～グループで考えた 公園は、みんなが笑顔で楽しめる公園になっているのかな？～



行きたい度

ぜひ行きたい

人

まあまあ行きたい

人

あまり行きたくない

人

けっかをふりかえって

第【 3 】学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

単元名

つくろう！ばくら 公園

地域の公園について調べ、地域に住む人々の思いや願いを知り、地域に住む人が笑顔で楽しめる公園について考え、形にすることを通して、地域に興味を持ち、自分も地域の一員であるという気持ち育てる。

目標

月	4月			6・7月			9月			10・11月			12・1月			2・3月																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
時数	2																																		
過程	つかむ																																		
活動	<p>【つかむ】10時間</p> <p>1 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。</p> <p>①探究課題と出会い、単元の課題を把握する。</p> <p>◇ のまわりには、公園が多いことに気づき、自分のよく遊んでいる公園について、おすすめポイントを紹介する。</p> <p>◇実際に公園調査に出かけ、公園の魅力を探って、まとめる。</p> <p>(公園・公園)</p> <p>②単元の課題を把握する。</p> <p>◇二つの公園を比べ、それぞれの公園のもつ魅力や公園の役割について気づく。</p> <p>【単元の課題】 みんなが笑顔で楽しめる公園～ 公園をつくらう</p> <p>③遠郊の駅通しをもつ。</p> <p>◇ 地区に作りたいたいみんなが笑顔を楽しめる公園のテーマを考える。</p>																																		
他教科等との連携	<p>国語「よい聞き手になろう」</p> <p>国語「春の楽しみ」</p> <p>社会「わたしのまち みんなのまち」</p> <p>理科「春のしぜんにとび出そう」</p> <p>国語「気になる記号」</p> <p>「本を使って調べよう」</p> <p>国語「夏の楽しみ」</p> <p>理科「チョウを育てよう」「こん虫を調べよう」</p> <p>国語「つたえよう、楽しい学校生活」・インタビュー</p> <p>社会「店でたらく人」</p> <p>図工「ハッピー小物入れ」</p> <p>道徳「ゴミステーション」</p> <p>国語「秋の楽しみ」</p> <p>国語「冬の楽しみ」</p> <p>社会「工場ではたらく人々」</p> <p>国語「しがたをかえる大豆」</p> <p>国語「しりょうから分かる、小学生のこと」</p>																																		
地域・外部との連携	<p>・公園での活動の際には、市役所公園緑地課に、学級だよりをとおして、インタビュー活動を行う目的を家庭連絡し、趣旨を理解し、発表会を学習参観日において、保護者の方にも学習の成果を伝えられると良い。</p>																																		
備考																																			

【追究する①】8時間

2 単元の課題に基づき、グループでの課題を設定し、追究する。

①課題の設定

◇グループごとに 公園のテーマを決める。

◇テーマにもとづいた公園のアイデア図(公園マップ)をつくる。

②情報の収集

◇学校(他グループの児童や教職員)や家庭でのインタビューによるアンケート調査を行い、公園の魅力(行きたいと思う良さ)や足りないところを聞き取る。

③整理・分析

◇グループごとにアンケートの結果を持ち寄り、公園の良いところ・表現

④まとめ・表現

◇グループごとに、自分たちの公園が「みんなが笑顔で楽しめる公園」になっているかをふり返り、考えや感想をまとめる。

【追究する②】11時間

3 新たな課題を見いだし、継続して追究する。

①課題の設定

◇グループごとに、みんなが利用しにくくなる公園について考え、テーマを置き、公園の模型をつくる。(本時1/3時間目)

②情報の収集

◇学校(他学年の児童や教職員)や家庭でのインタビューによるアンケート調査を行い、宮二里公園の魅力(行きたいと思う良さ)や足りないところを聞き取る。

③整理・分析

◇グループごとにアンケート結果を持ち寄り、公園の良いところ、足りないところを整理する。

④まとめ・表現

◇各グループの公園の模型を完成させ、学習発表会で家の人に発表する。

◇展示会を開き、自分たちの取り組みを他クラスとも見せ合ったり、他学年にも発信したりする。

【まとめ】1時間

4 単元全体の学習を振り返る。

◇これまでの学習を、ファイルや作成物等から振り返り、頑張ったことや成果を話し合う。

◇公園づくりを通して、自分たちが考えていたことと地域の人たちの願いを知って、考えがどのように変わったかをワークシートにまとめる。

情報教育5時間を総合的な学習の時間に充てる。